

「関西文化学術研究都市の建設に関する計画(奈良県域)」(案)に対する意見の募集について

意見等の概要		県の考え方
全般	学研高山地区第2工区は、1994年 県・市・UR(旧住都公団)の3者が基本協定締結国家プロジェクトとしてスタート以降紆余曲折がありましたが、生駒市と我々地権者の取り組みにより、ようやく事業化に向け再び進み出しました。今回、奈良県が計画変更されることに對し歓迎する次第です。この計画変更を機に、奈良県の発展に資する産業拠点として、次世代へつなげるものと確信しており、本事業に対する奈良県の強力な支援をお願いいたします。	本県は、生駒市が立ち上げた「学研高山地区第2工区事業推進会議」に参画するなど、これまでも生駒市の取組に協力をしてまいりました。今後も引き続き、生駒市の取組に協力してまいりたいと考えております。
P5 3 高山地区	土地利用の考え方に、高山東西線と高山南北線を整備すると記載いただきました。東西線は府県をまたぐ重要な道路です。早期整備に向けよろしく願いいたします。	生駒市においては、生駒市都市計画マスタープランに基づき、都市計画道路高山南北線等の都市計画の変更が行われたところです。今後も引き続き、都市計画道路の整備を含め、学研高山第2工区の整備に向け、生駒市の取組に協力してまいりたいと考えております。
P16 ア 幹線道路、補助幹線道路	都市計画道路(高山東西線・高山南北線・高山北廻り線・上町芝線)の整備をすると記載いただきました。早期整備に向けよろしく願いいたします。	
P17 イ 下水道	公共下水道の整備は、最先端の都市を建設するうえで必要不可欠です。公共下水道の整備を推進するではなく、公共下水道を整備するに、改めていただきますよう要望します。生駒市が策定したマスタープランには、現時点で公共下水道の全体区域に含まれていないと記載されています。事業実施に向け進捗している現状を踏まえ、公共下水道の全体区域に含めていただきますようお願い申し上げます。	本県としても公共下水道等の整備については、都市を建設するうえで必要であるという認識です。一方で本計画は、関西文化学術研究都市(奈良県域)の建設に関する総合的な計画であり、まちづくりの大きな方向性を示すものです。そのため、本計画に沿った個別・具体の整備に関しては、不確定な要素もあることから全体を通して同様の表現を使用しております。このことから、ご意見をいただいた箇所については原案どおりとさせていただきます。 また、学研高山第2工区の下水道の整備については、生駒市等の関係機関との協議を進めてまいりたいと考えております。